



## 2023年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月14日

上場会社名 株式会社クロスフォー 上場取引所 東  
 コード番号 7810 URL <https://crossfor.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土橋 秀位  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 山口 毅 (TEL) 057-008-9640  
 四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年7月期第3四半期の連結業績(2022年8月1日~2023年4月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第3四半期	2,218	△2.2	△161	—	△165	—	△212	—
2022年7月期第3四半期	2,268	11.6	△1	—	45	—	179	—

(注) 包括利益 2023年7月期第3四半期 △212百万円( —%) 2022年7月期第3四半期 183百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第3四半期	△12.55	—
2022年7月期第3四半期	10.67	10.62

(注) 当第3四半期連結累計期間における潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失金額であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第3四半期	5,266	1,869	34.8
2022年7月期	5,185	2,129	40.4

(参考) 自己資本 2023年7月期第3四半期 1,833百万円 2022年7月期 2,093百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	—	0.00	—	3.50	3.50
2023年7月期	—	0.00	—	—	—
2023年7月期(予想)	—	—	—	0.75	0.75

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 期末配当予想の修正については、本日(2023年6月14日)公表いたしました「2023年7月期 通期連結業績予想の修正、期末配当予想の修正及び役員報酬の一部減額等に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2023年7月期の連結業績予想(2022年8月1日~2023年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,887	△6.8	△245	—	△288	—	△309	—	△18.27

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 連結業績予想の修正については、本日(2023年6月14日)公表いたしました「2023年7月期 通期連結業績予想の修正、期末配当予想の修正及び役員報酬の一部減額等に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期3Q	17,745,000株	2022年7月期	17,685,000株
② 期末自己株式数	2023年7月期3Q	798,081株	2022年7月期	798,081株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期3Q	16,919,886株	2022年7月期3Q	16,849,900株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果により景気の持ち直しの動きがあったものの、円安傾向の継続、ロシア・ウクライナ情勢に起因する世界的な資源価格・原材料価格の高騰に伴う消費者物価の上昇が景気に与える影響など、世界情勢は依然として不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界においても、商業施設への人出も戻り始め、インバウンド需要の復活や催事販売会の再開により一部で消費回復の動きは見られましたが、相次ぐ消費財の値上がりの影響による節約志向の高まりから、市場環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は長期にわたって安定的に収益を生み出す構造改革を目指すべく、3か年を対象とした中期経営計画「Challenge for innovation」を推進しました。海外においては、3月に香港で開催された「香港インターナショナル・ジュエリー・ショー2023」に参加し、「Single Dancing Stone」(※1)、「EXL-LOCK」(※2)および「ブリリアントプレス」(※3)など次世代の柱となる新商品を中心に提案し、新たな市場の開拓に努めました。加えて、海外大手小売店各社へのフォローアップを継続し、導入に向けての取り組みは順調に進展しております。これらの取り組みを継続し、海外大手取引先への売上依存から脱却し安定した売り上げ確保に向けて強い成長基盤を築いてまいります。一方、国内においては、4月に開催された「山梨ジュエリーフェア2023」に参加したほか、多様化する市場ニーズに対してSFAツールを活用した企画提案型営業を推し進めております。また、昨今の原材料価格や経費の高騰を受け、異素材を組み合わせた商品や当社特許技術を用いた商品開発に取り組み、利益の最大化に努めてまいります。

こうした活動を行ってまいりましたが、当第3四半期連結会計期間において海外大手取引先からの受注減少をカバーすることができず、国内売上高は、16億33百万円となり、海外売上高は、5億85百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は22億18百万円(前年同四半期2.2%減)、営業損失は1億61百万円(前年同四半期は営業損失1百万円)、経常損失は1億65百万円(前年同四半期は経常利益45百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億12百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億79百万円)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

※1 「Single Dancing Stone」とは、当社の特許技術である「Dancing Stone」を応用した宝石がまるで生きているかのような予測不能な動きで揺れ、輝きが何倍にもなる宝石のセッティング方法であります。

※2 「EXL-LOCK」とは、当社が開発したネックレスやブレスレットに使用する片手で簡単に脱着できるダブルロック式の留め金具であります。

※3 「ブリリアントプレス」とは、医療用器具にも使われるサージカルステンレスを使用した時計ブレスレットに、当社の特許技術で宝石をセッティングしたジュエリーのような豪華さと、アクセサリのようなカジュアルさを合わせもつブレスレットであります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ81百万円増加し、52億66百万円となりました。これは主に、商品及び製品が2億16百万円、仕掛品が1億65百万円増加し、現金及び預金が2億98百万円減少したこと等によるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3億41百万円増加し、33億97百万円となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定を含む)が3億17百万円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億60百万円減少し、18億69百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失2億12百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年9月14日の「2022年7月期決算短信」で公表いたしました2023年7月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年6月14日)公表の「2023年7月期 通期連結業績予想の修正、期末配当予想の修正及び役員報酬の一部減額等に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	735,596	437,562
受取手形及び売掛金	601,207	449,020
商品及び製品	1,039,520	1,255,948
仕掛品	250,780	416,312
原材料及び貯蔵品	723,590	847,050
その他	165,860	165,017
貸倒引当金	△38,895	△29,005
流動資産合計	3,477,658	3,541,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	935,366	904,630
土地	331,094	331,094
建設仮勘定	11,225	14,286
その他(純額)	89,095	86,887
有形固定資産合計	1,366,781	1,336,898
無形固定資産	117,548	205,346
投資その他の資産		
長期貸付金	7,465	8,049
その他	211,060	168,966
貸倒引当金	△313	△313
投資その他の資産合計	218,211	176,703
固定資産合計	1,702,541	1,718,947
繰延資産		
社債発行費	5,211	5,731
繰延資産合計	5,211	5,731
資産合計	5,185,412	5,266,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	174,041	115,719
短期借入金	600,000	600,000
1年内償還予定の社債	40,000	54,000
1年内返済予定の長期借入金	390,115	448,079
未払法人税等	11,279	4,427
賞与引当金	—	12,613
その他	59,736	83,577
流動負債合計	1,275,173	1,318,417
固定負債		
社債	140,000	176,000
長期借入金	1,639,921	1,899,349
その他	1,043	3,677
固定負債合計	1,780,964	2,079,026
負債合計	3,056,137	3,397,444
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	704,508	710,508
資本剰余金	798,175	804,175
利益剰余金	611,008	339,515
自己株式	△20,378	△20,378
株主資本合計	2,093,313	1,833,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	210
為替換算調整勘定	212	△464
その他の包括利益累計額合計	338	△253
新株予約権	35,621	35,575
純資産合計	2,129,274	1,869,142
負債純資産合計	5,185,412	5,266,586

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
売上高	2,268,955	2,218,712
売上原価	1,495,871	1,573,296
売上総利益	773,083	645,416
販売費及び一般管理費	774,411	806,926
営業損失(△)	△1,327	△161,510
営業外収益		
為替差益	55,951	14,771
受取賃貸料	4,358	4,360
補助金収入	3,151	256
その他	2,483	1,312
営業外収益合計	65,944	20,701
営業外費用		
支払利息	17,019	17,513
貸倒引当金繰入額	△2,170	12
コミットメントフィー	1,025	525
その他	2,881	6,549
営業外費用合計	18,754	24,600
経常利益又は経常損失(△)	45,861	△165,408
特別利益		
国庫補助金	—	21,633
新株予約権戻入益	231	46
固定資産売却益	2,874	—
特別利益合計	3,105	21,679
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産圧縮損	—	15,503
特別損失合計	0	15,503
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	48,967	△159,233
法人税、住民税及び事業税	2,485	3,013
法人税等還付税額	△119,184	—
法人税等調整額	△14,101	50,141
法人税等合計	△130,800	53,155
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,767	△212,388
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	179,767	△212,388



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,767	△212,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	83
為替換算調整勘定	3,594	△676
その他の包括利益合計	3,595	△592
四半期包括利益	183,363	△212,981
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,363	△212,981
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当第3四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(棚卸資産の評価方法の変更)

a. 製品・仕掛品・原材料

当社の製品、仕掛品、原材料の評価方法は、従来、主として総平均法による原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間の期首より、移動平均法による原価法に変更しております。

当該変更は、基幹システムの再構築を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

当該変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。また、当該変更が当第3四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

b. 貯蔵品

当社の貯蔵品の評価方法は、従来、主として最終仕入原価法による原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間の期首より、主として個別法による原価法に変更しております。

当該変更は、基幹システムの再構築を契機として、より迅速かつ適正な期間損益計算を行うことを目的としたものであります。

当該変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。また、当該変更が当第3四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書において、追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。